

豊明市事務事業評価票（１７年度事業） ソフト事業及びハード事業用							
事業名		ねんりん倶楽部					
総合計画上の事業名		健康づくりと医療	担当課 健康課				
予算事業名		ねんりん倶楽部	担当係 健康推進係				
事業の内容		高齢者など外に出る機会の少ない人が、地域の公民館等の会場にて、その地域の人々と、ボランティア、職員が協力をして実施し、運営していく教室。健康を維持していくために体操や、交流を深めるために手工芸や料理、世代間交流のため地区の児童と交流を行っている。					
事業の目的		外に出る機会の少ない人、運動する習慣の少ない人等が、地域の人達と協力し、健康を維持することで、自立した生活を送ることができる。					
指標		ねんりん倶楽部活動地区数					
事業実績及び目標		【実績値及び目標値】					
			実績(地区)	目標(地区)	職員数	事業費(決算見込額)千円	
		平成14年度	3		0.1	210	
		平成15年度	3		0.1	210	
		平成16年度	3	3	0.1	210	
		平成17年度	4	3	0.1	273	
		平成18年度		4	0.1	300	
		平成19年度		4	0.1	300	
		平成20年度		4	0.1	300	
総合評価及び今後の対応		【達成率】 133.3%		成果指標の当該年度目標に対する達成度			
		【必要性】 A	必要性、有効性、効率性、市民満足度については、チェック表を基に A 大いにある、B 普通、C ほとんどなしから選択		総合評価については、 A 予定どおり進める B 見直しが必要(手法等) C 見直しが必要(縮小) D 廃止が相当 から選択 評価理由についても記載してください		
		【有効性】 A					
		【効率性】 B					
		【市民満足度】 A					
		【総合評価(担当課)】 A					
		18年度に新規(1地区)立ち上げを予定。運営をボランティア中心で進められるよう、ボラへの事業委託も方法のひとつとして視野に入れながら、計画を実行する。					
		【総合評価(審査会)】 B					
		運営をボランティアに委託するよう、また、もっと増設するよう検討すること					
		【総合評価(最終評価)】 B					
		【改革プラン】 総合評価がB、C、Dの場合記入					
運営はボランティア中心で進められるよう支援を強化していく。また、新規立ち上げの際は、ボランティアに運営を委託する方法で準備し、地区の特性を生かすため増設も検討する。18年度から介護保険法改正に伴い、ねんりん倶楽部は通所型介護予防事業の位置づけとなり、高齢者福祉課の所管事業となるが、健康課も連携して事業を進める。							
【改革プランへの対応】(何をどのように実施したか)							
17年度新たに大根区にて1か所立ち上げる。準備・運営については地元民生委員が中心になり進めている。健康課は後方支援や責任者の位置づけで係わる。先々には、ボランティアへの事業委託も視野に入れながら、検討を重ねていく。なお、18年度からは改正介護予防法により、ねんりん倶楽部の位置づけが、介護予防事業に移行。それに伴い、高齢者福祉課と18年度以降の協働事業の形態について検討する。							